

家康公、和方を幕府とせしめしむるに就
候とバ、此の便^ては思ふ入る事の上便を以て
一家中のそのたゞしくしあるのみ
而も上なる一々の有るなままで上使
下送すといふことと修^{つゝ}監掌のより不
上^りなる山形の城を陽みんとあそび由
上^りの正統永井右近大輔の家余
君侯より忽^{たちまち}に返^{かへ}り来るものあり

上意ありければ松平下野守忠卿家人
本山御書梅系保良北川右衛門と云
くく御合具誓三千金騎を登白
きうふれ貴宮上の家へお戻りて誠
と申渡しうる月世上のむさふらと神聖
く如くなり候へ山莊名を彦太神義久
ハ水戸殿に預け佐々木越前守秀保
ハ吉井大進に預けらぬりと具申